
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2013年第34週
(8月19日～8月25日)

* 2013年8月28日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成25(2013)年8月29日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2013年34週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		31週	32週	33週	34週	年累計	34週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	72	65	81	61	2,577	384	17,214
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢		1		2	19	3	92
	腸管出血性大腸菌感染症	17	13	20	33	234	225	2,305
	腸チフス					13		39
	パラチフス					16		35
四類	E型肝炎		1			22		84
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		1		16		95
	エキノкокクス症							12
	黄熱							
	オウム病					2		7
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					3		3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					3		3
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						1	35
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					3		9
	つつが虫病					1		142
	デング熱	1	2	5	1	37	7	140
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						4	68	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		31週	32週	33週	34週	年累計	34週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア			1		6	1	28
	野兎病							
	ライム病	1				2		7
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		2
	レジオネラ症	2	3	1	1	47	19	674
	レプトスピラ症				1	2	2	9
	ロッキー山紅斑熱							
2013/8/28集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 61件 肺結核 34件、その他の結核 4件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 20件、疑似症 2件、年齢は5歳未満 1件、20代 8件、30代 5件、40代 8件、50代 6件、60代 12件、70代 15件、80代 4件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 61件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 患者 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、菌種はソネ 2件、推定感染地はインド 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 33件 患者 20件、無症状病原体保有者 13件、血清型・毒素型はO26 VT1 11件、O157 VT1・VT2 7件、O103 VT1 6件、O157 VT2 3件、O157 VT1 1件、O157・O145 1件、血清型不明VT1 1件、O157 VT(型不明) 3件、年齢は10歳未満 16件(うち5歳未満 14件)、10代 1件、20代 5件、30代 3件、40代 2件、50代 2件、60代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 33件、推定感染経路は接触感染 14件、経口感染 10件(うち牛肉関連の摂取 4件)、経口感染又は接触感染又は動物・蚊・昆虫等からの感染 1件、その他(不明) 8件であった。33件のうち14件(O103 VT1 6件、O26 VT1 7件、血清型不明VT1 1件)が保育園の集団発生関連事例であった。

〈四類感染症〉

デング熱 1件 患者、年齢は50代、推定感染地はインドネシアであった。

レジオネラ症 1件 ポンティアック熱型、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

レプトスピラ症 1件 患者、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染であった。

※ 第33週で報告のあった〔三類〕細菌性赤痢 1件は削除された。

※ 第33週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2013年34週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		31週	32週	33週	34週	年累計	34週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	3	4	2	130	12	671
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2	4	1	2	52	3	183
	急性脳炎 *1					32	5	253
	クリプトスポリジウム症	1				2		11
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1	11	4	136
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	23	1	139
	後天性免疫不全症候群	7	5	4	7	302	13	972
	ジアルジア症					13		45
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2	1				6	3	64
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2				1	7	1	15
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	3	1	4	2	61	13	537
	髄膜炎菌性髄膜炎 *3							2
	先天性風しん症候群		2		1	7	1	12
	梅毒	10	9	7	15	272	14	767
	破傷風					3	3	87
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		7	1	39
	風しん	38	38	24	20	3,322	68	13,846
麻しん	2	1		1	57	4	189	
2013/8/28集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2013年4月1日より指定が解除された。

(全数把握対象疾患のコメント・五類)

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管 2件、年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 1件、その他(不明) 1件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 2件、年齢は40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は性的接触(異性間 2件)であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 家族性CJD、年齢は70代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 G群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

後天性免疫不全症候群 7件 無症状病原体保有者 7件、年齢は20代 3件、30代 1件、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 6件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触(同性間 6件)、不明 1件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症 1件 死亡例、血清型は不明、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、共同生活はなしであった。

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 血清型は未実施 2件、年齢は60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他(不明) 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

先天性風しん症候群 1件 CRS典型例、年齢は5歳未満 1件、(母親の妊娠中の罹患歴は罹患なし、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種ありであった。)

梅毒 15件 早期顕症梅毒Ⅰ期 3件、早期顕症梅毒Ⅱ期 7件、無症候梅毒 5件、年齢は20代 5件、30代 5件、40代 3件、50代 2件、推定感染地は国内 15件、推定感染経路は性的接触 15件(同性間 11件、異性間 4件)であった。

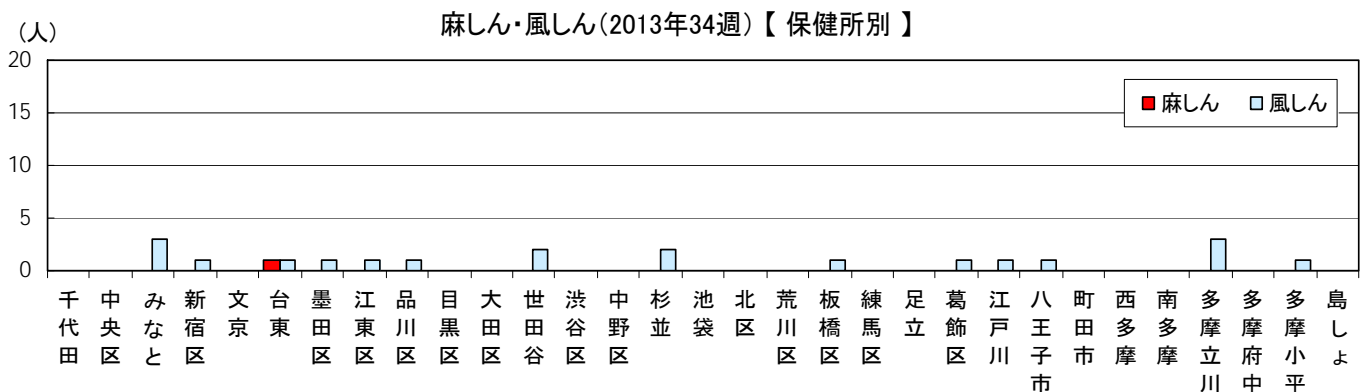
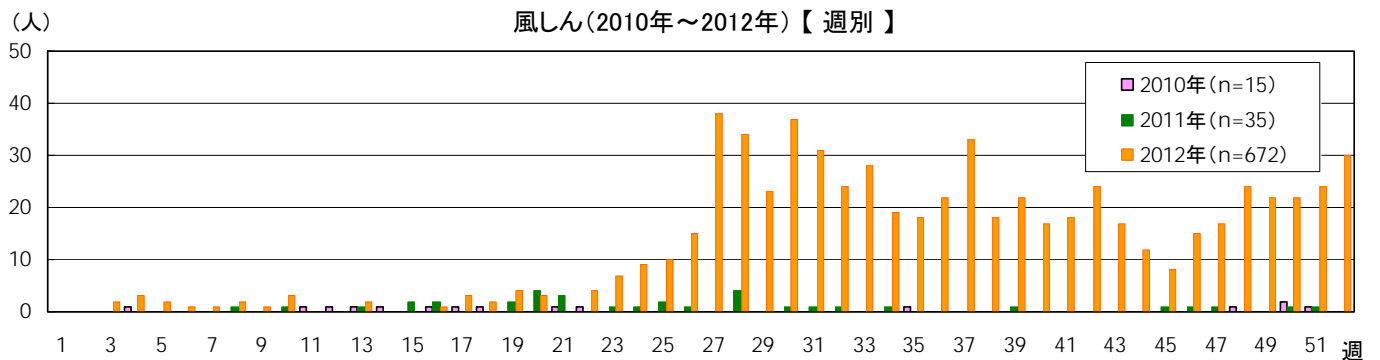
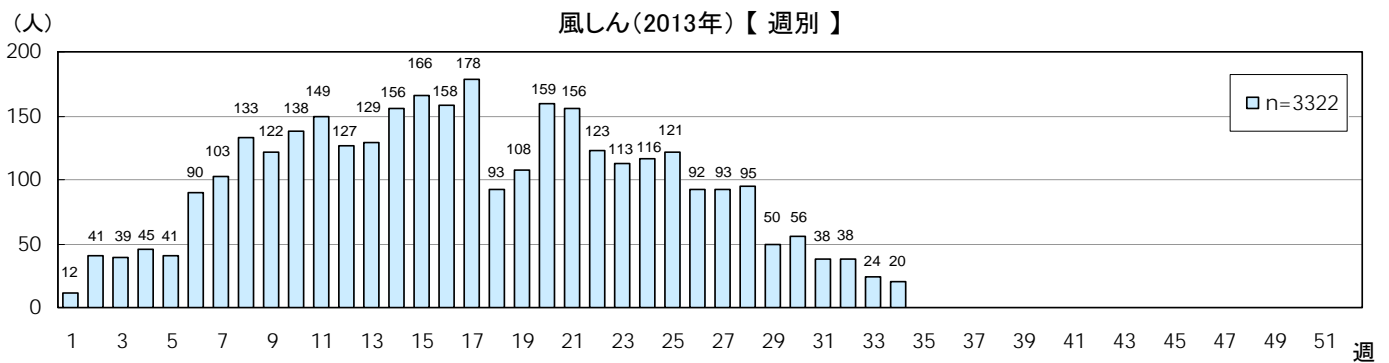
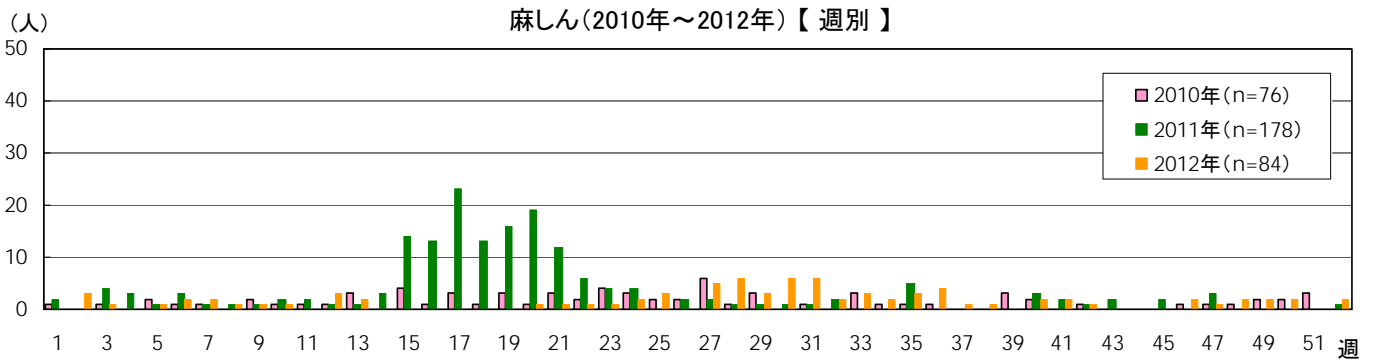
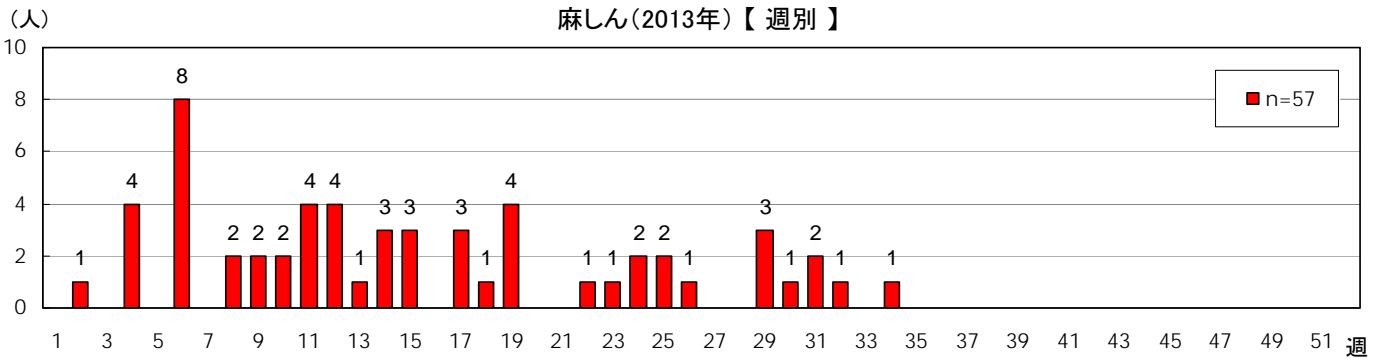
風しん 20件 年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 7件、30代 7件、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 20件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 9件、接触感染 1件、その他(不明) 10件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、接種なし 7件、不明 12件であった。

麻しん 1件 検査診断例、年齢は20代、推定感染地は国内又は国外、推定感染経路はその他(不明)、麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。麻しんPCRは陽性、遺伝子型はD9型で、インドネシアからの旅行者であった。

※ 第28週で報告のあった〔五類〕風しん 1件は削除された。

※ 第33週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2013年34週

定点種別	対象疾患	2013年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		31週	32週	33週	34週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	93	133	89	78	0.32	242	264
	咽頭結膜熱	142	122	93	88	0.36		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	260	243	141	146	0.60		
	感染性胃腸炎	869	756	345	602	2.49		
	水痘	146	130	106	124	0.51		
	手足口病	3,648	3,021	1,272	1,122	4.64		
	伝染性紅斑	30	32	9	15	0.06		
	突発性発しん	171	149	82	137	0.57		
	百日咳	2	5					
	ヘルパンギーナ	1,037	799	281	303	1.25		
	流行性耳下腺炎	59	41	23	47	0.19		
	川崎病 (注1)	2	2	1	4	0.02		
	不明発しん症 (注1)	33	29	20	26	0.11		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	9	5	2	3	0.01	392	419
眼科	急性出血性結膜炎				1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	23	26	9	19	0.50		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)			1	1	0.04	25	25
	無菌性髄膜炎	6	3	2	3	0.12		
	マイコプラズマ肺炎	16	8	7	11	0.44		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			2				
	インフルエンザ入院 (注4)							
2013/8/28集計								

- (注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 (注2) 鳥インフルエンザを除く。
 (注3) インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 (注4) 2011年36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・手足口病の定点当たり報告数は4週連続して減少し、4.64となり、流行のピークは越えた。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数も4週連続して減少し、過去5年平均と同水準で推移している。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

世田谷区

- ・アタマジラミ 2名。
- ・手足口病が依然として多いです。

豊島区

- ・RSウイルス感染症が急増。集団感染ではなく、広くみられる。カンピロバクター腸炎 3名、ヒトメタニューモウイルス感染症 1名。

北区

- ・夏かぜ症候群は残っているものの下火です。

荒川区

- ・マイコプラズマ肺炎1名、アデノウイルス咽頭炎 1名。
- ・病原性大腸菌O8、サルモネラO4群 各1名。

板橋区

- ・病原性大腸菌O25、O55、O128 各1名。

葛飾区

- ・5歳児は、伝染性単核球症(EBウイルスか?)。夏休みが終わったら、突然、感染症の発生が減少した。

八王子市

- ・アデノウイルス咽頭炎(2歳児、4歳児、5歳児)、アデノウイルス胃腸炎(5か月児、9か月児、3歳児)。

多摩小平

- ・病原性大腸菌 10名。ロタウイルス腸炎、アデノウイルス腸炎 各1名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2013年34週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
～5か月	10			4	2	14		1		3	
～1歳	23	1	1	70	10	116		46		34	
1歳	32	13	3	101	22	385	2	76		85	4
2歳	4	11	7	62	25	198	3	11		57	2
3歳	7	16	20	53	21	136	2	3		30	4
4歳	1	11	14	43	15	75	3			34	8
5歳	1	8	23	26	9	54	2			17	6
6歳		8	20	19	7	32	2			15	5
7歳		5	11	25	4	24				6	3
8歳		5	16	23	5	16				2	5
9歳		1	10	23	1	9				8	3
10～14歳		6	13	50	1	25	1			9	4
15～19歳		2	1	18	1	2				1	1
20～29歳		1	7	85	1	36				2	2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	78	88	146	602	124	1,122	15	137		303	47
先週比	-11	-5	5	257	18	-150	6	55		22	24

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹				
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	インフルエンザ入院
～5か月							1			
～1歳		5						1		
1歳	3	6						1		
2歳		4						1		
3歳	1	4						2		
4歳		3								
5歳					1			1		
6歳			1				1			
7歳										
8歳		1								
9歳							1			
10～14歳		2			1			2		
15～19歳					1			1		
20～29歳		1			3			1		
30～39歳					4					
40～49歳			1		7					
50～59歳			1							
60～69歳				1	1			1		
70～79歳					1					
80歳以上						1				
合計	4	26	3	1	19	1	3	11		
先週比	3	6	1	1	10		1	4	-2	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2013年34週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				2.00	0.33	3.67		0.67		0.67
中央区			0.67	1.67	0.67	1.33	1.33	1.67		2.00
みなと	0.33	0.33	0.17	2.50	1.00	5.33	0.17	0.33		
新宿区	0.71	0.71	1.86	1.71	1.00	4.00		0.86		0.86
文京	0.33	1.00		0.33	0.33	2.33		1.33		1.67
台東		0.75	0.75	4.75	0.25	6.50		0.75		1.00
墨田区			0.60	0.20	0.40	5.80		0.60		1.20
江東区	0.89	0.33	0.56	4.44	0.33	7.00		0.22		2.11
品川区			0.13	4.00	0.38	3.25		0.75		0.50
目黒区	0.25	0.25		0.75		3.75				0.75
大田区	0.40	1.10	0.80	2.60	0.50	4.10		0.50		2.30
世田谷	0.13	0.13	0.47	2.20	1.13	6.27	0.07	0.47		1.93
渋谷区		0.25		0.75	0.25	3.75				
中野区	0.29	0.29	0.57	2.57	0.29	4.71		0.43		2.14
杉並			0.11	2.33	0.11	2.89		0.56		
池袋	1.80		0.80	2.60		3.20		0.40		1.00
北区		0.29	0.43	1.86	0.43	5.57	0.29	1.29		0.14
荒川区	1.25	1.50	1.00	2.75	0.50	11.25		0.50		1.25
板橋区	0.25		0.50	1.63		4.75		0.75		1.13
練馬区		0.42	0.58	0.92	0.83	4.92	0.08	1.00		0.92
足立	0.45		0.73	4.00	0.36	4.18	0.09	0.45		1.18
葛飾区	0.13	0.25	0.13	4.50	0.25	4.13	0.13	0.38		1.25
江戸川		0.88	1.38	4.13	0.13	2.25		0.13		1.75
八王子市	0.82	0.18	1.36	3.09	0.45	6.82		0.55		2.09
町田市	0.38	0.38	0.25	2.88	0.38	2.25		0.25		1.75
西多摩			0.40	1.20	0.20	6.00	0.20			0.80
南多摩	0.44	0.78	0.89	1.78	0.89	4.67	0.22	1.11		2.11
多摩立川	0.07	0.29	0.93	2.50	0.71	2.71		0.29		0.57
多摩府中	0.05	0.37	0.26	1.32	0.74	3.79	0.05	0.53		1.42
多摩小平	0.87	0.67	0.73	3.60	0.53	6.27		0.80		1.07
島しょ					1.00	9.00				2.00
東京都	0.32	0.36	0.60	2.49	0.51	4.64	0.06	0.57		1.25

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田											
中央区						2.00					
みなと											
新宿区	0.29										
文京	0.33					1.00		1.00			
台東	0.25										
墨田区								1.00			
江東区		0.11	0.33	0.07							
品川区	0.13										
目黒区											
大田区	0.20		0.40								
世田谷	0.20	0.07	0.20			0.50					
渋谷区						1.00			1.00		
中野区			0.29			1.00					
杉並	0.11					3.00					
池袋											
北区	0.43										
荒川区	0.50		0.25								
板橋区	0.38				0.50	1.50					
練馬区	0.33		0.17								
足立	0.55			0.06		0.50					
葛飾区									7.00		
江戸川	0.88		0.25			0.50					
八王子市	0.09		0.27			0.50					
町田市			0.25								
西多摩	0.60					1.00					
南多摩	0.33			0.07		1.00					
多摩立川	0.07	0.07									
多摩府中	0.16		0.11			0.33			0.67		
多摩小平		0.07	0.13			0.50	0.50	0.50	0.50		
島しょ											

東京都	0.19	0.02	0.11	0.01	0.03	0.50	0.04	0.12	0.44		
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--	--

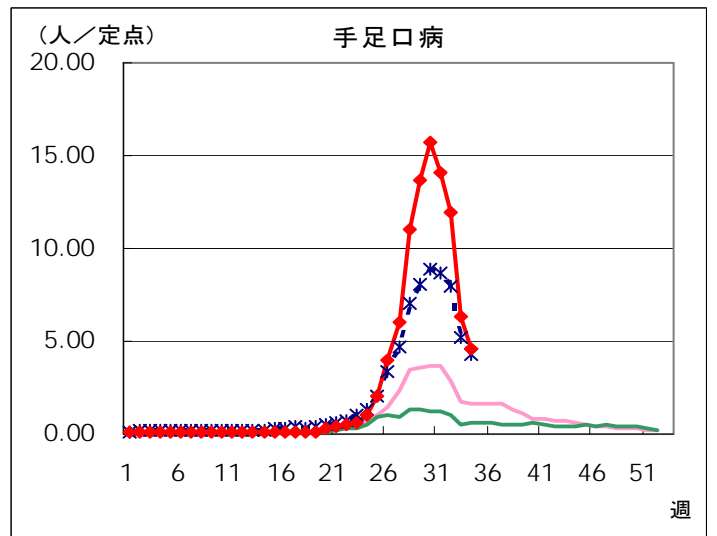
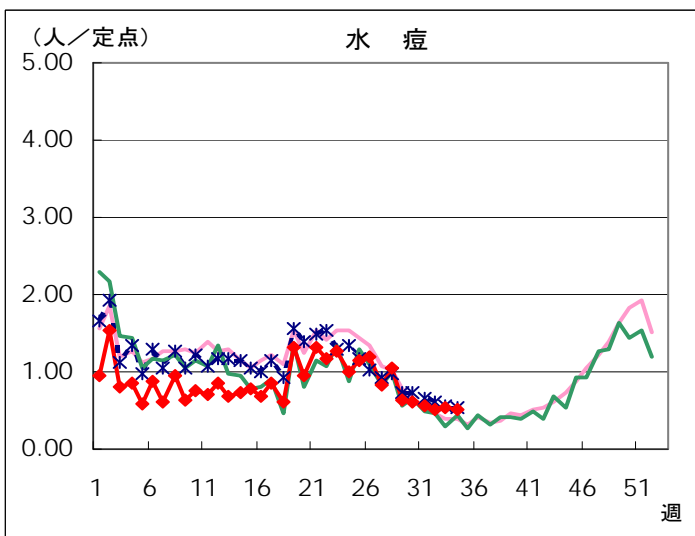
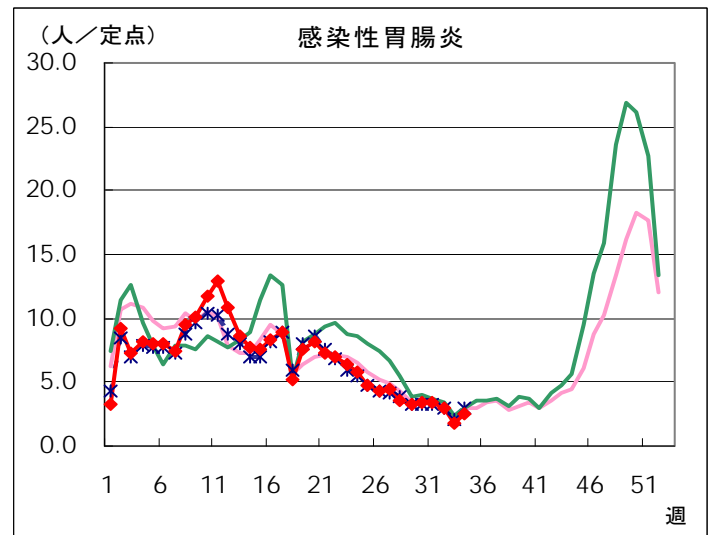
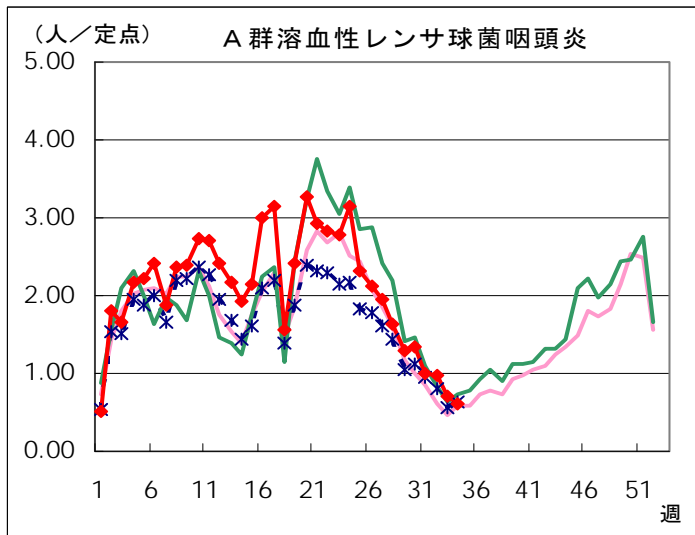
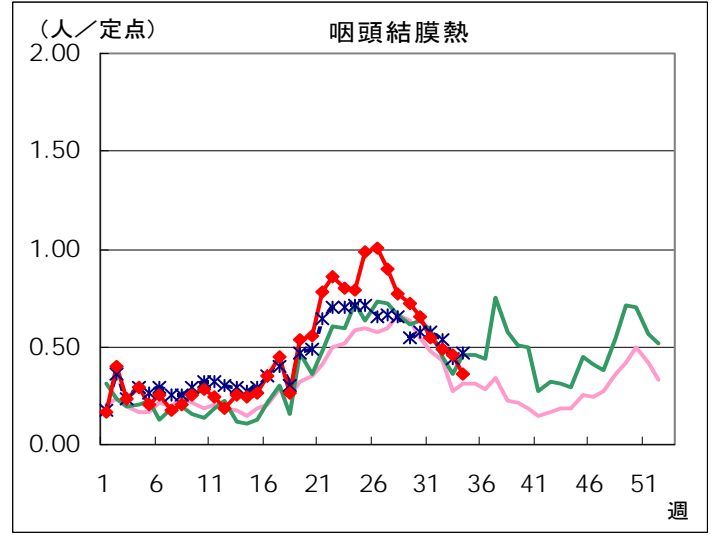
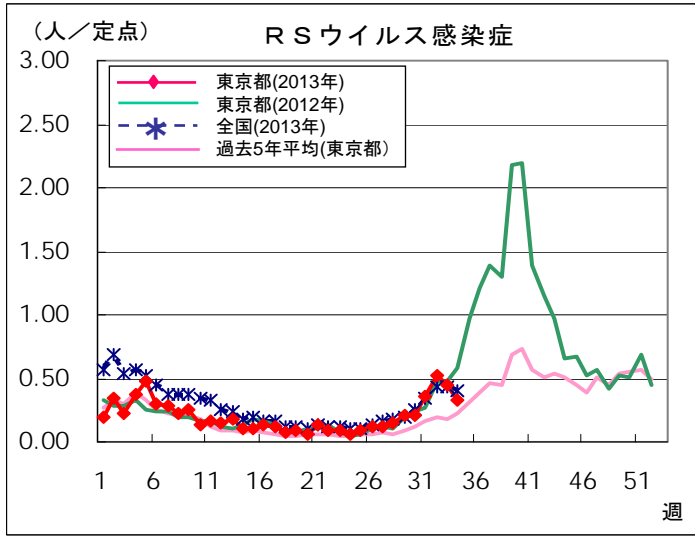
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2013年34週

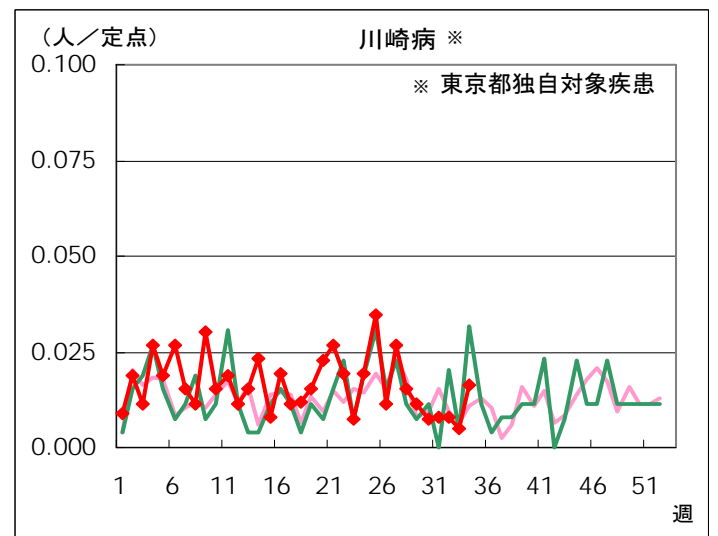
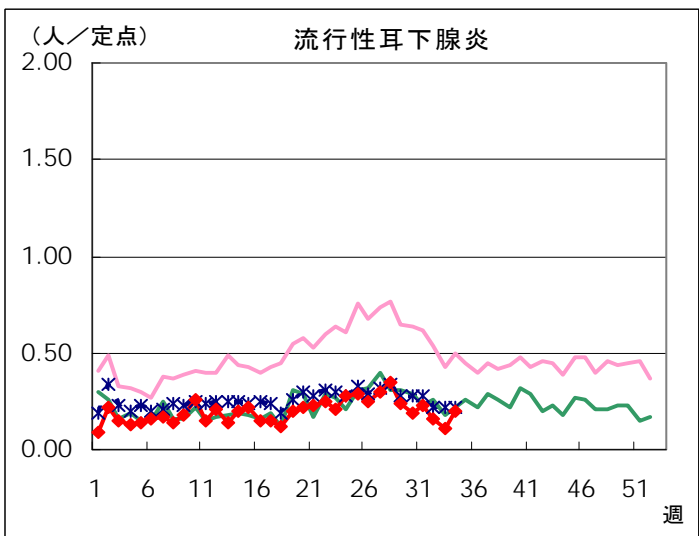
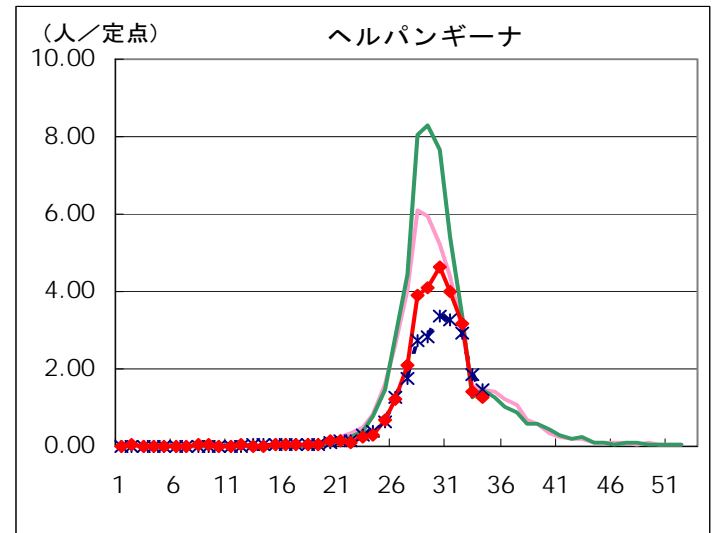
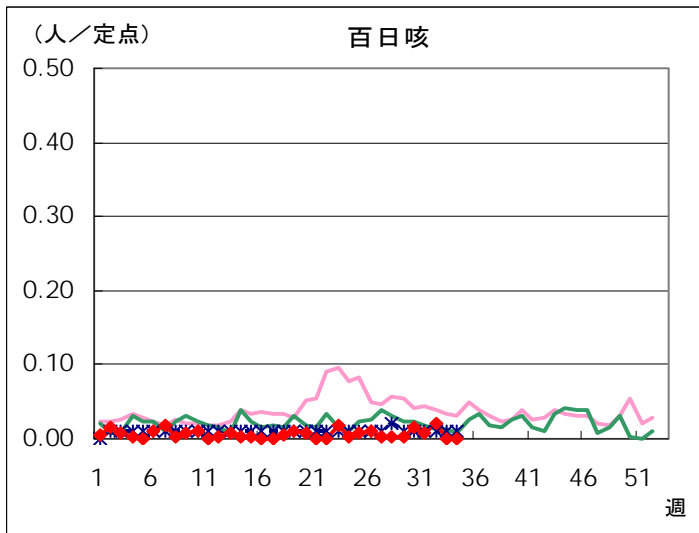
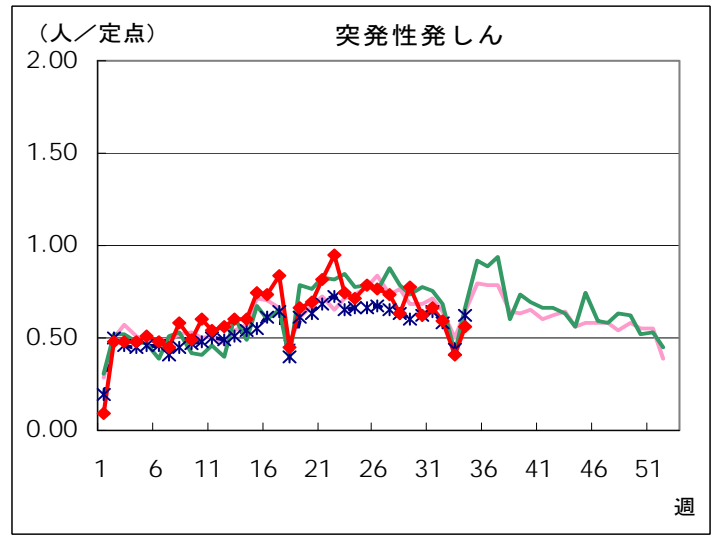
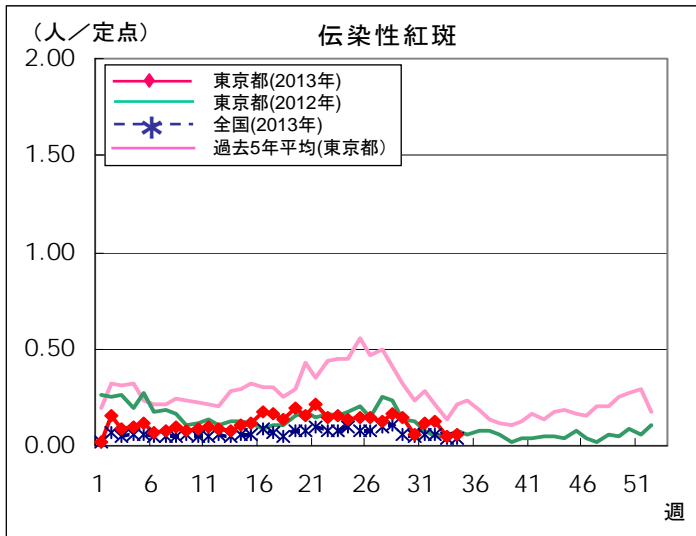
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				6	1	11		2		2
中央区			2	5	2	4	4	5		6
みなと	2	2	1	15	6	32	1	2		
新宿区	5	5	13	12	7	28		6		6
文京	1	3		1	1	7		4		5
台東		3	3	19	1	26		3		4
墨田区			3	1	2	29		3		6
江東区	8	3	5	40	3	63		2		19
品川区			1	32	3	26		6		4
目黒区	1	1		3		15				3
大田区	4	11	8	26	5	41		5		23
世田谷	2	2	7	33	17	94	1	7		29
渋谷区		1		3	1	15				
中野区	2	2	4	18	2	33		3		15
杉並			1	21	1	26		5		
池袋	9		4	13		16		2		5
北区		2	3	13	3	39	2	9		1
荒川区	5	6	4	11	2	45		2		5
板橋区	2		4	13		38		6		9
練馬区		5	7	11	10	59	1	12		11
足立	5		8	44	4	46	1	5		13
葛飾区	1	2	1	36	2	33	1	3		10
江戸川		7	11	33	1	18		1		14
八王子市	9	2	15	34	5	75		6		23
町田市	3	3	2	23	3	18		2		14
西多摩			2	6	1	30	1			4
南多摩	4	7	8	16	8	42	2	10		19
多摩立川	1	4	13	35	10	38		4		8
多摩府中	1	7	5	25	14	72	1	10		27
多摩小平	13	10	11	54	8	94		12		16
島しょ					1	9				2
東京都合計	78	88	146	602	124	1,122	15	137		303

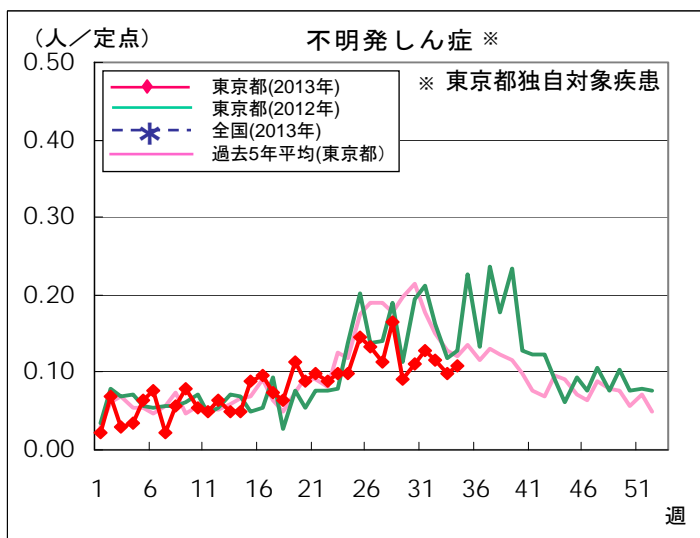
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田											
中央区						2					
みなと											
新宿区	2										
文京	1					1		1			
台東	1										
墨田区								1			
江東区		1	3	1							
品川区	1										
目黒区											
大田区	2		4								
世田谷	3	1	3			1					
渋谷区						1			1		
中野区			2			1					
杉並	1					3					
池袋											
北区	3										
荒川区	2		1								
板橋区	3				1	3					
練馬区	4		2								
足立	6			1		1					
葛飾区									7		
江戸川	7		2			1					
八王子市	1		3			1					
町田市			2								
西多摩	3					1					
南多摩	3			1		1					
多摩立川	1	1									
多摩府中	3		2			1			2		
多摩小平		1	2			1	1	1	1		
島しょ											
東京都合計	47	4	26	3	1	19	1	3	11		

定点把握対象疾患 週別報告数(2013年34週 現在)

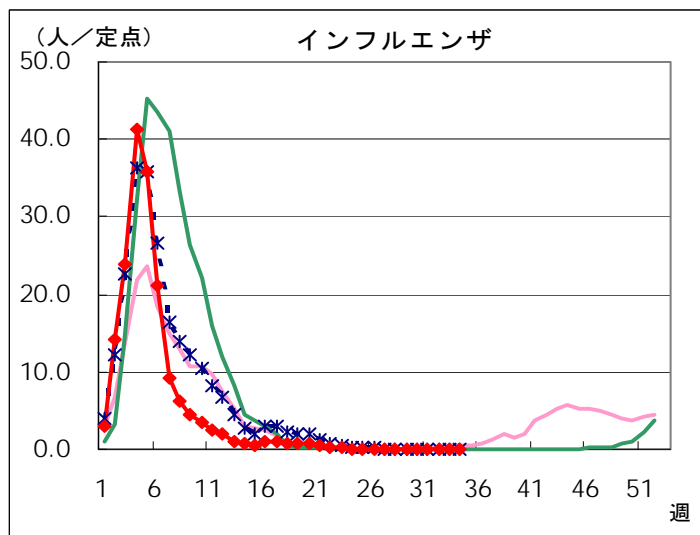
◆ 小児科定点



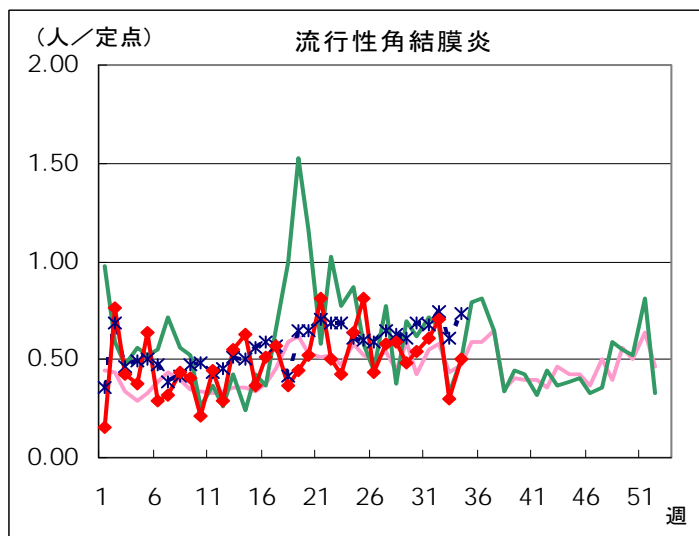
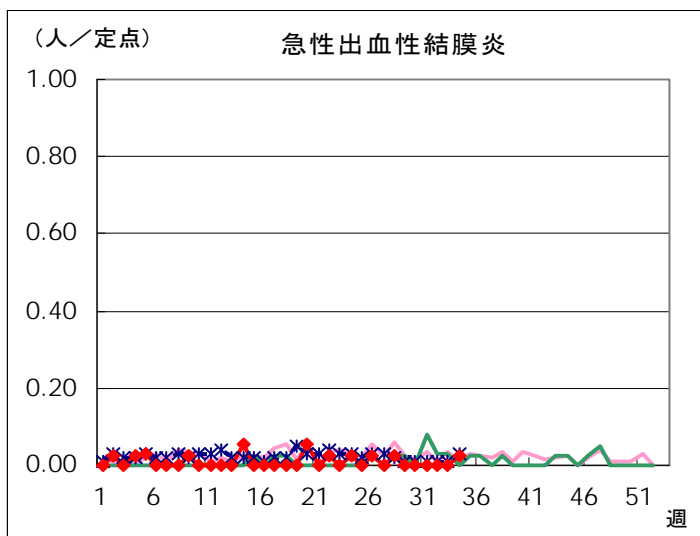




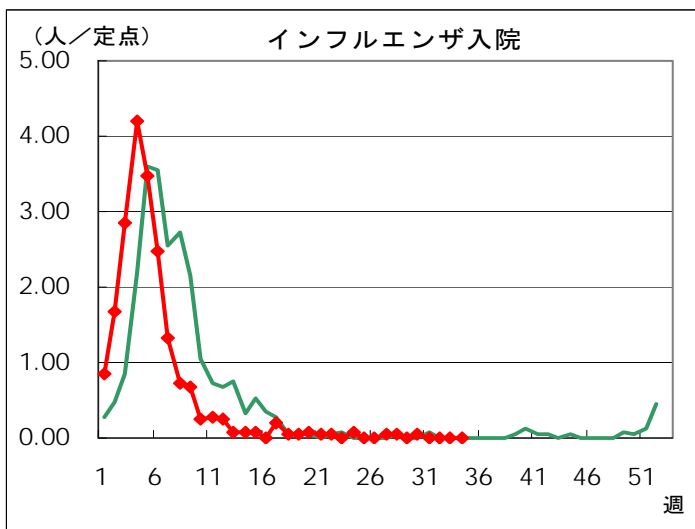
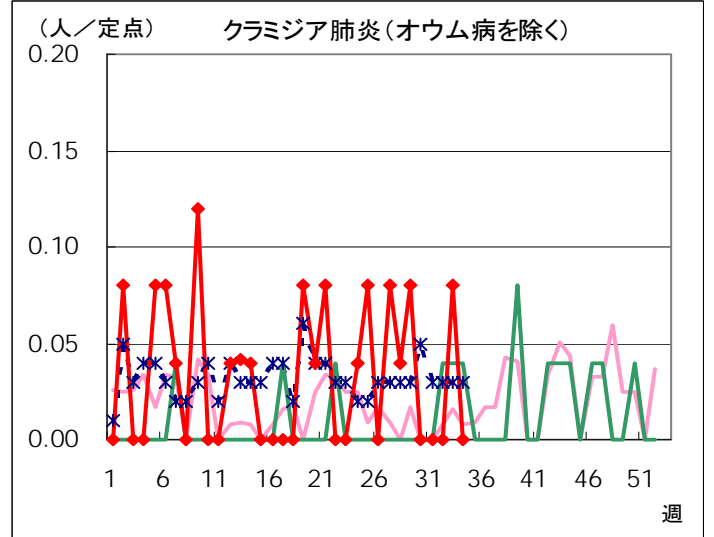
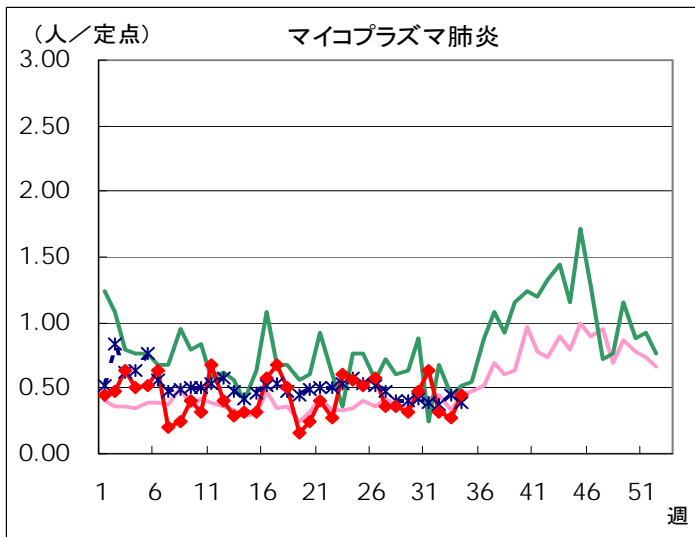
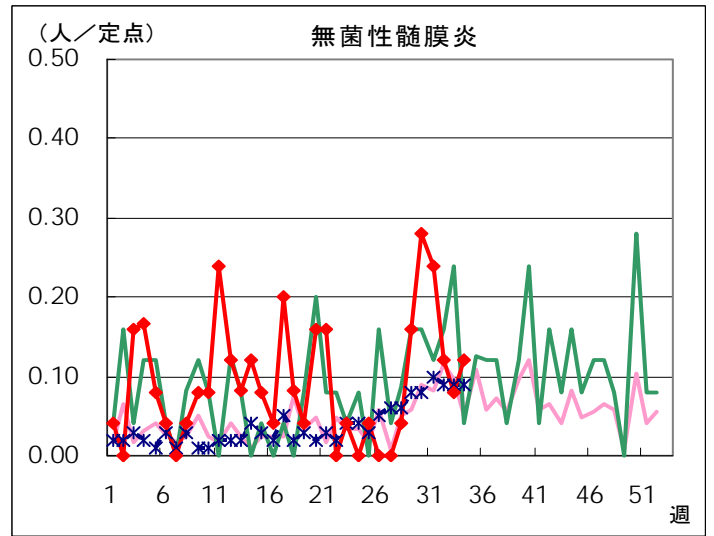
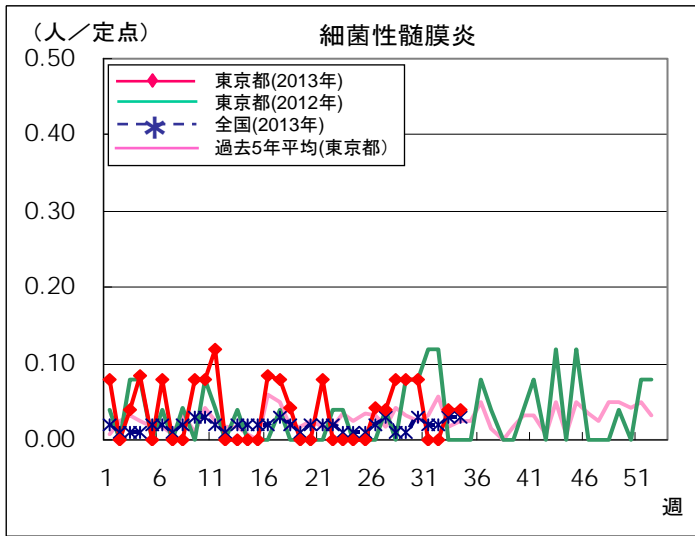
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
8/2	肺炎	2M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス 3型	遺伝子
8/9	肺炎	3M	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
8/15	突発性発しん	9M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型 ヒトヘルペスウイルス 7型	
8/12	脳炎 ウイルス性髄膜炎	0	糞便	エンテロウイルス 71型	
			咽頭拭い液		
8/2	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	
8/12	手足口病 RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルス アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス 7型	
8/14	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
8/5	クループ	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	
8/14	流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
8/6	血小板減少性紫斑病	6	咽頭拭い液	エコーウイルス 25型	
8/10	横隔膜筋融解症	記載なし	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型	
8/6	新生児発熱	記載なし	血液	エコーウイルス 18型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数 ※「33週」は全て0件でした。

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
33週				
2012-2013年 シーズン累計**	2		245	69

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2012-2013シーズンの開始は第36週(2012年9月3日～)

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年							
		26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週
ウイルス	アデノウイルス	1	4	3	1	3	2	5	1
	ライノウイルス	3	5	2	2	2	4		
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群	7	12	20	19	13	18	20	3
	コクサッキーウイルスB群			1	2		1	7	
	エコーウイルス					3		3	2
	エンテロウイルス71	1	3	1	2	2	2	2	2
	その他のエンテロウイルス			1	2	2	2	4	
	単純ヘルペスウイルス								
	水痘・帯状疱疹ウイルス				1	1	2		
	ヘルペスウイルス6/7	5	6	12	11	8	10	4	4
	EBウイルス		1	1	1	2			
	サイトメガロウイルス			1	1	1			
	ムンプスウイルス								1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス			2	1				
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	1	3	1	1	4		2	1
	ノロウイルス				1		1		
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3			2					
	インフルエンザウイルスB	1							
	インフルエンザウイルスAH1pdm09								
	デングウイルス(抗体を含む)								
	その他のウイルス	11	14	4	5	3	1	3	2
細菌	カンピロバクター	1			1				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年26週～2013年33週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		7	47	47	25	60	11		2	12	85	1	42	11	3		2	73	
ウイルス	アデノウイルス		4	2	1	1	3		1	1	1		1	1				4	
	ライノウイルス	1	2	5	1	1	1				2		3	2					
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群	2	5	1			2		1	6	68		14	1	1			11	
	コクサッキーウイルスB群					7	1							1				2	
	エコーウイルス					2				1			2					3	
	エンテロウイルス71		2	1		2	1				7		1				1		
	その他のエンテロウイルス			1		5	1						2	1				1	
	単純ヘルペスウイルス																		
	水痘・帯状疱疹しんウイルス										1		1		2				
	ヘルペスウイルス6/7		2	1		2					31		15						9
	EBウイルス										1			1					3
	サイトメガロウイルス					1				1				1					
	ムンプスウイルス													1					
	麻疹ウイルス																		
	風しんウイルス													3					
	パルボウイルスB19																		
	RSウイルス		2	11															
	ノロウイルス				2														
	ロタウイルス																		
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	2																		
インフルエンザウイルスB	1																		
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス (抗体を含む)																			
その他のウイルス		18	20	1		2			1				1						
細菌	カンピロバクター				2														
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			